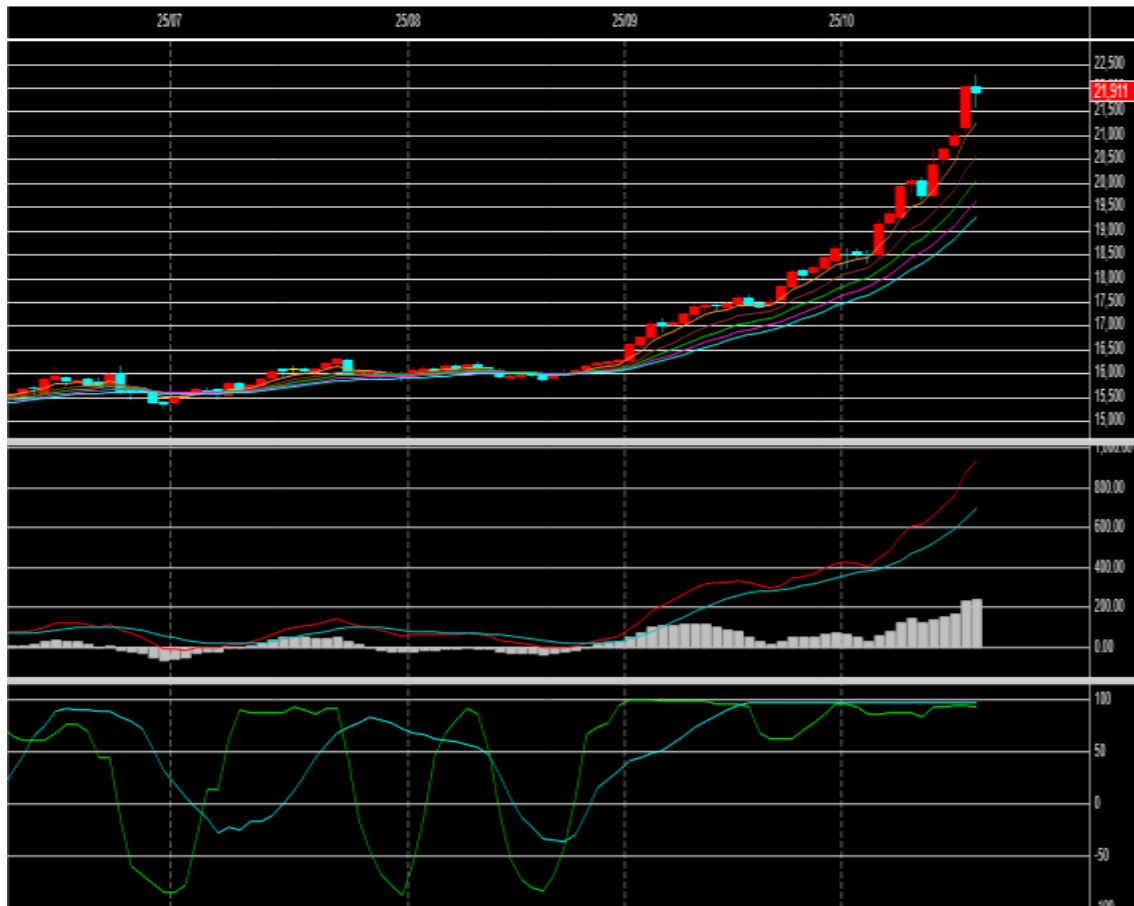


<金標準、買われ過ぎの域であり要注意・・>



(出所：オアシス)

NY 金のドル建て価格は 8 週連続で史上最高値を更新している。特にトランプ大統領は中国政府がレアアースの輸出規制を強化した事から、11 月 1 日から対中国の関税を 100%引き上げ 130%にする事を発表している。また米国の地銀であるザイオンズ・バンコプとウェスタン・アライアンス・バンコプの 2 行の株価が不正の疑いがある融資の問題を明らかとなり大幅な下落を見せ、シリコンバレー銀行の破綻の再来に映り信用リスクが高まりを見せている。しかし週末にトランプ大統領やベッセント財務長官など対中国で楽観的な発言を行い、また地銀の企業決算が好調な数字を示し、一時高まった関税リスクと信用リスクが低下している。特に為替市場では、自民党と維新の連立構想が進み、高市トレードの巻き戻しも一服するなど円安・ドル高の動きを見せている。

特に週末まで金標準先物は 22288 円まで高値を試すも 21600 円まで急落するなど高値追いに対する弊害が見えだしており、21500 円に向けた下値模索には注意が必要と思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACD が上昇し、シグナルは上昇している。RCI は短期、長期が 90%以上で維持している。特に日足が指数平滑移動平均線と乖離しており、短期 (5 日) が位置する 21282 円に向けた修正には注意が必要に思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取 1,930,000 円(2025 年 10 月 20 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 110,880 円(2025 年 10 月 20 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>